

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 10117836
PUBLICATION DATE : 12-05-98

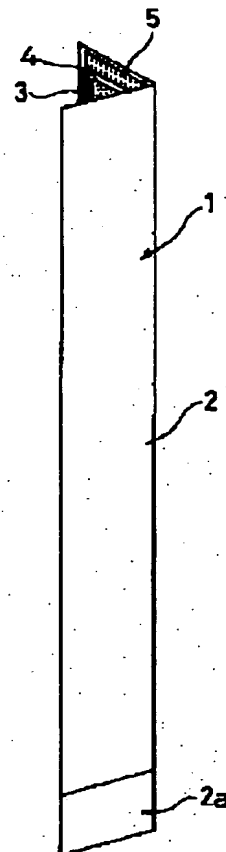
APPLICATION DATE : 16-10-96
APPLICATION NUMBER : 08273285

APPLICANT : KIKUBOSHI:KK;

INVENTOR : TAKEHANA SANEKI;

INT.CL. : A45D 19/00 A45D 19/02

TITLE : HAIR PARTIALLY DYEING TOOL



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To partially and beautifully dye hair for oneself by providing a water absorbing sheet for impregnating chemical agents such as hair dye, decolorizing material, on the inner side face of a two-foldable covering material and forming the covering material to be openable and closable.

SOLUTION: At the time of constituting a hair partially dyeing tool 1 of a single body, the strip-like covering material 2 two-foldable in a longitudinal direction is formed from an impermeable material such as aluminum foil, synthetic resin sheet, and a rail-like openable/closable member 3 is fixed to an end edge in the longitudinal direction of the covering material to be formed openable/closable. The water absorbing sheet such as cotton, nonwoven fabric, a sponge sheet, is stuck to the inner side of the material 2. Chemical agent for dyeing hair is previously impregnated to the sponge sheet 4 or else, the agent for dyeing hair of a desired color is selected at the time of using and the agent is impregnated to the sponge sheet 4 to be used.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-117836

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月12日

(51) Int.Cl.⁸

A 4 5 D 19/00
19/02

識別記号

F I

A 4 5 D 19/00
19/02

B
B

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-273285

(22) 出願日 平成8年(1996)10月16日

(71) 出願人 596149051

株式会社 菊星

東京都台東区浅草橋3-20-18

(72) 発明者 竹鼻 実樹

東京都台東区浅草橋3-20-18 株式会社
菊星内

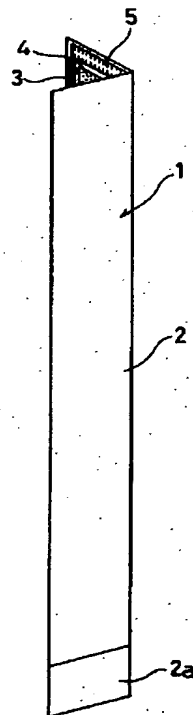
(74) 代理人 弁理士 斎藤 侑 (外2名)

(54) 【発明の名称】 頭髪用部分染め具

(57) 【要約】

【課題】 頭髪の毛染め施術のうち、頭髪全体を染めるのではなく、部分染め施術を自分で簡単にできる頭髪の部分染め具を提供することである。

【解決手段】 二つ折りに形成した被覆材2の内面に、毛染め剤または脱色剤などの薬液を吸水性シート4を取り付け、また、前記被覆材2を開閉可能に開閉部材3を設けた頭髪用部分染め具に構成したことである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 二つ折り可能な被覆材の内面に、毛染め剤または脱色剤等の薬液を含浸させるための吸水性シートを設け、かつ、該被覆材を開閉可能に形成したことを特徴とする頭髮用部分染め具。

【請求項2】 二つ折り可能な被覆材の内面に、毛染め剤または脱色剤等の薬液を含浸させた吸水性シートを設け、かつ、該被覆材を開閉可能に形成したことを特徴とする頭髮用部分染め具。

【請求項3】 請求項1および2記載の頭髮用毛染め具の被覆材が、アルミ箔あるいは合成樹脂シート等の不透水性の素材で形成されていることを特徴とする頭髮用部分染め具。

【請求項4】 請求項1および2記載の頭髮用毛染め具の被覆材が、二つ折り可能な短さくの如き長方形状に形成されていることを特徴とする頭髮用部分染め具。

【請求項5】 請求項1および2記載の頭髮用部分毛染め具の被覆材が帯状に形成されていることを特徴とする頭髮用部分染め具。

【請求項6】 請求項1および2記載の頭髮用部分毛染め具の被覆材が帯状に形成され、かつ、該被覆材の所定箇所にミシン目あるいは切れ目などの切断手段が設けられていることを特徴とする頭髮用部分染め具。

【請求項7】 請求項1および2記載の頭髮用部分毛染め具が、ロール巻きに形成されていることを特徴とする頭髮用部分染め具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は頭髮の毛染め施術のうち頭髮全体を染めるのではなく、部分染め施術を理美容室のプロあるいは、個人が自宅で簡単に部分染め施術ができる頭髮用部分毛染め具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】現在、日本の女性のうち、約60%がしがら染め、脱色、おしゃれ染め等の何らかの毛染めをおこなっている。毛を染める（脱色を含む）技術のなかで、頭髮の一部分だけを染めるものがあるが、それはワンポイント違う色を染めてより自然に見せたり、頭髮を立体的に見せるためである。

【0003】上記の従来の頭髮の部分染め施術の一例を図7で説明すると、図8の(1)に示すように、初めに部分染めをしようとする毛髪aを櫛等で取り分け、取り分けた毛束bに、はけc等で毛染め剤あるいは脱色剤などの薬液を塗布する。次に、図8の(2)に示すように、その薬液を塗布した毛束bをプラスチックシート（以下ラップと称する）あるいは、アルミ箔等の被覆材dで包む。毛髪を包み込んだラップあるいはアルミ箔等の被覆材dを、ピンや輪ゴムなどの係止部材eで留め養生する。（図8の(3)）

養生後被覆材dを取り除き部分染めfが仕上がる。（図

8の(4)）

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記の頭髮の一部分だけをうまく染めたい場合は、美容師等の資格保持者でなければきれいに染めることができない。その理由は、染める部分だけに薬液を塗り込み、それをラップやアルミ箔等の被覆材でいちいち巻き、さらにピン等で止めるという作業をおこなわなければならないからである。また、頭髮の根元からきれいに染め上げるには、熟練しなければならない問題がある。この発明は上記の問題を解決し、ひとりで簡単、かつきれいに部分染めをすることができる頭髮用部分染め具を提供しようとするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】この発明は上記の課題を解決するために、毛染め剤または脱色剤等の薬液を含浸させるための吸水性シートを、二つ折り可能な被覆材の内側面に設け、かつ、該被覆材を開閉可能に形成した頭髮用部分染め具に形成したことである。

【0006】また、毛染め剤または脱色剤等の薬液を含浸させた吸水性シートを、二つ折り可能な被覆材の内面に設け、かつ、該被覆材を開閉可能に形成した頭髮用部分染め具に構成したことである。

【0007】吸水性シートを内在させた被覆材を、短さく形状の如き単体の長方形状に形成するかあるいは、前記短さく形状の被覆材を多数連ねた、いわゆる帯状の長尺物に形成した場合は、被覆材の所定箇所にミシン目あるいは切れ目などの切断手段を設けた頭髮用部分染め具に構成したことである。

【0008】頭髮用部分染め用薬液を含浸させる吸水性シートを内在させた被覆材を、ロール巻に形成したことである。

【0009】この発明は上記のとおりであるから、染め分けをしようとする毛髪部を梳きとり、その梳きとった毛髪を上記の部分染め具の被覆材ではさみ込み、その状態で暫く養生すると吸水性シートに予め染め液が含ませてあるので、従来の施術のように取り分けた毛束に、はけなどでいちいち薬液を塗布する必要がなく、部分的染め上げが簡単にできる。また、染め付け時に毛染め用薬液を含浸シートに浸透させる方式のものは、色の使い分けができるので、頭髮を種々の色に染め分けできる。

【0010】

【発明の実施の形態】この発明の実施の形態を図により説明する。図1～図4はこの発明の頭髮用部分染め具1を単体で構成した場合を示し、アルミ箔あるいは合成樹脂シート等の不透水性の素材で、長手方向に二つ折り可能な短さく状の被覆材2を形成し、該被覆材2の長手方向の端縁にレール状の開閉部材3を取付け開閉可能に形成する。

【0011】この被覆材2の内面に綿、紙、不織布、ス

ポンジシート等の吸水性を有するシート4、実施例ではスポンジシートを貼着する。このスポンジシート4に予め毛め用薬液を含浸させるか、使用時に染めたいと思う色の毛染め用薬液を選択し、スポンジシート4にその毛染め用薬液を含ませ使用する。

【0012】前記、被覆材2の長手方向の端縁へのレール状開閉部材3の取り付けを、被覆材の下端縁まで行わずに被覆材2の下部を閉止し、図2に示すように閉止部2aを形成する。また、被覆材2の上端縁に面ファスナー5のような締結具を設ける。

【0013】図5～6は他の実施例であり、この発明の部分染め具1を長尺に形成し、それをロール巻きした形成した例を示す。このロール巻きした部分染め具1は、使用時に髪の高さに合わせて切り、被覆材2の下部を折り曲げて使用するので、被覆材2は折り曲げ易いアルミ箔等の素材が好ましい。また、上記のように長尺に形成した場合、適当な長さに切り取り易いように、ミシン目あるいは切れ目などを入れておくとも良い。

【0014】この発明の頭髪用部分染め具は上述のとおりであるから、図7の(1)のようにコーム6で着色しようとする髪毛部分7を梳きとり、その梳きとった髪毛7束の先端を部分染め具1の被覆材2で挟持し、レール状の開閉部材4を閉じて図7の(2)のように包み込む。

【0015】さらに、被覆材2の上端部に設けた面ファスナー5を閉じ、図示はしていないが必要に応じてピンあるいはテープで被覆材2をはさみ、染めたい部分の髪と染めない髪を完全に遮断し、被覆材で包み込んだ髪毛をそのまま暫く放置養生し、吸水性シートに含ませた薬液が頭髪に浸透するのを待つ。養生が終わったら、被覆材を開き毛染め具を取り除けば、自動的に部分染め8ができる。(図7の(3))

【0016】なお、この発明の毛染め具の使用に当たって、短ざく形状のものは、そのまま使用する。また、長尺もの場合は束ねた髪毛の高さに合わせて裁断し使用するが、被覆材の下端部は単体の短ざく状のものとなつて下方が開放されているので、使用時には下方を折り曲げ閉止し、さらに、ピンあるいはテープで止めることによりスポンジなどのシートにしみ込ませた薬液がたれ落ちるのを防止する。

【0017】また、予めスポンジなどの吸水性シートに

毛染め用薬液を含浸させたものは、着色の色が限定されるが、前以て含浸させていないものは、必要に応じて色を使い分けることができ便利である。

【0018】

【発明の効果】この発明は、自分で頭髪の一部だけを染める作業において、初めに部分染めをしようとする髪毛を取り分けたのち、はけ等で薬液を塗る作業を必要としないので、薬液でまわりを汚すことがない。また、髪毛の束を包み込むとき毛染め具の袋部に毛先を挿入し、開閉具を閉じることにより簡単に毛髪を包みこむことができる。

【0019】また、染める部分だけに薬液を塗り込み、それをラップやアルミ箔等の被覆材でいちいち巻き、さらにピン等で止めるという作業をおこなう必要がないので、ひとりで簡単にかつ部分染めをおこなうことができる。

【0020】この発明の器具は被覆材の内面にあらかじめ髪を染めたり、脱色したりするための薬液を染み込ませてあるので、美容室等で施術されなくとも、自分できれいに部分染めをすることが可能となった。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の頭髪用部分染め具の一実施例の側面図である。

【図2】同上の正面図である。

【図3】図2のA-A部の断面図である。

【図4】同上の縦断面図である。

【図5】この発明の頭髪用部分染め具の他の実施例の斜視図である。

【図6】同上の被覆材を開いた状態の一部正面図である。

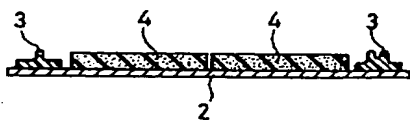
【図7】本発明の頭髪用部分染め具の使用状態を示す図である。

【図8】従来の部分染め作業の状態を示す図である。

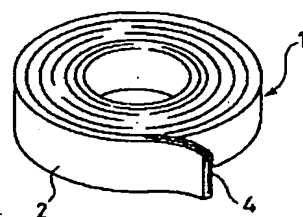
【符号の説明】

- 1 頭髪用部分染め具
- 2 被覆材
- 2a 閉止部
- 3 レール状開閉部材
- 4 吸水性シート(スポンジシート)
- 5 面ファスナー
- 8 部分染め部

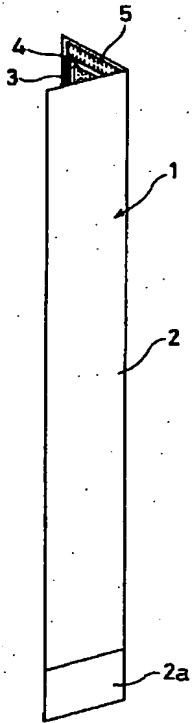
【図3】



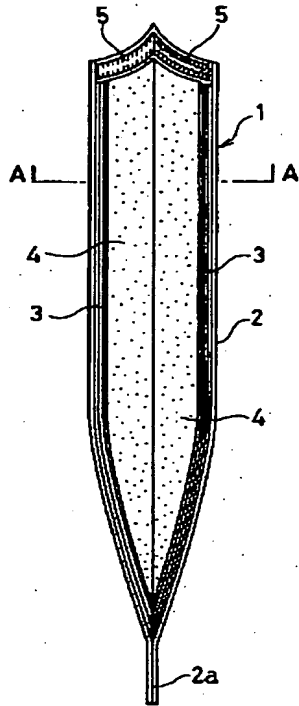
【図5】



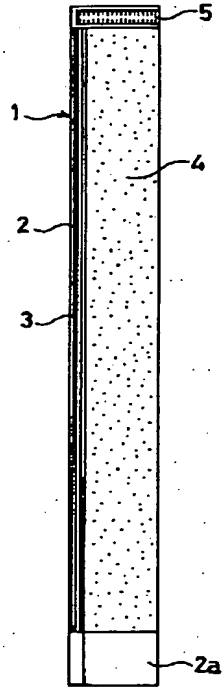
【図1】



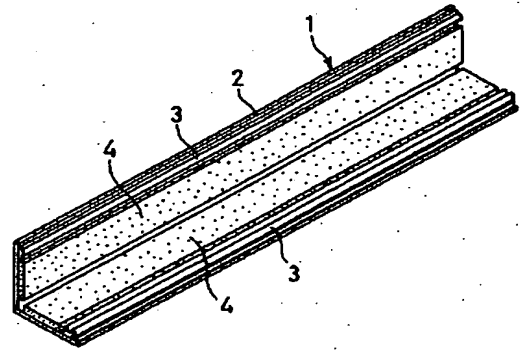
【図2】



【図4】



【図6】



【図7】

